

# 保阪正康さんの近現代通史 【昭和天皇が歩んだ20世紀】

<第二期>後編



©北村成

講師

ノンフィクション作家

保阪 正康 Masayasu Hosaka

## 昭和天皇の生涯を通して「日本の20世紀」を描く

昭和天皇は明治34年(1901)に誕生し昭和64年(1989)に崩御されました。その生涯は明治・大正・昭和の三代に渡ります。この講座では、立憲君主、大元帥、現御神、国民の象徴といったさまざまな顔を持って生きた昭和天皇の視座から、日本の近現代史を通観します。

昭和天皇の在位期間は、64年(実質は62年と2週間)に及びます。この期間には三つの時代に分かれます。昭和20年8月までの戦争の時代、昭和27年4月までの占領を受けていた時代、そしてその後の独立を回復した時代です。後編では昭和20年8月の終戦から平成までを、昭和天皇の心理、昭和天皇が今上天皇に託したものを含めて考えてみます。

保阪正康

4/13<sup>±</sup>

14:00-17:00

玉音放送は国民に  
何を伝えたか

1

昭和20年8月15日に、天皇はマイクの前で国民に向けて、戦争の終結と敗戦に伴う今後の覚悟を演説した。国民は初めて天皇の声を聞いたのである。一部の国民にはまさに「神が人間になった」のである。しかし天皇はより現実的で、そして、時代をよく見つけていた。天皇の本心に迫ることで日本の天皇制について考えることが必要である。今、そのことが何より必要だと思う。

7/6<sup>±</sup>

14:00-17:00

講和条約発効と  
日本国憲法の道

4

昭和27年4月に講和条約が発行する。日本は新しい体制で国際社会に出ていくことになった。占領期の間、天皇の心理には退位の気持ちもあったように思われるのだが、この独立を機に戦後の天皇像を確立すべく道を選択していく。天皇にとって、戦争時の心理から解放されたことは、改めて喜びであったように感じられる。天皇のこの心理を戦後日本の中心軸に据えるべきであろう。

5/11<sup>±</sup>

14:00-17:00

マッカーサーとの会談と  
民主化政策

2

マッカーサーが日本の統治を始めるにあたって最初に考えたのは天皇との会見であった。しかし自らは動かず、日本側の反応を待っていた。吉田茂外相などが会見の労をとり、昭和20年の9月26日に、天皇はアメリカ大使館を訪ねて第1回目の会談を行った。以後、10回にわたり会談を持っている。二人は何を話されたかを考える。

8/3<sup>±</sup>

14:00-17:00

高度経済成長下の  
天皇の役割

5

日本経済は戦後の復興から脱して世界第二位の地位にまで達する。この間の天皇は特に目立った動きはしていない。それが、近代日本では常態であることが望ましいとも言えた。天皇は国民統合のまさに象徴であった。東京オリンピックや大阪万国博など日本は国際社会で一定の重さを持つが、それは天皇の存在が国民の間にも統合の役割を果たしているとの理解が確立したからであった。

6/8<sup>±</sup>

14:00-17:00

全国巡幸と  
人間天皇の道

3

天皇は戦争の選択、そして悲惨な戦争の国民的な体験に対して、何らかの意思表示をしたいと考えていたように思われる。それが全国巡幸となったのであろう。この巡幸について、天皇はほとんどの国民に歓迎された。天皇自身も国民の生の声に接することで、初めて人間天皇の実感を得ていく。この回路は天皇と国民とも改めて天皇制のあり方を考える契機になった。

9/7<sup>±</sup>

14:00-17:00

昭和の終焉と  
平成の時代へ

6

昭和62年4月29日の天皇誕生日に、天皇は体調を崩された。その後、体調を取り戻したが、内々では癌であることもわかった。天皇は公務をこなしつつ療養に努めるが、やがて寝たきりの状態になった。その天皇の胸中にはどのような思いがあったのだろうか。折々に詠まれた御製を分析しつつ、その「お気持ち」を分析していきたい。

## 後編：人間天皇と国民との新しい絆

昭和天皇は、太平洋戦争が終結してからの時代にはその役割を大きく変えることになる。神格化された存在から、人間天皇、象徴天皇へと変わる。役割の変化の中で、昭和天皇自身はどのような考えを持ったのか、自らをどのように変えていこうとしたのか、そのことを考えていきたい。それぞれの局面でどのように振る舞われたのか、も考えていきたい。昭和天皇は平成の天皇に何を託されたのか、そのことも考えていきたい。

## 開催概要

日程	2019年 4/13、5/11、6/8、7/6、8/3、9/7 (すべて土曜日)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(消費税8%込)
おすすめしたい方	◎日本の歴史、特に近現代史について知見を深めたい方 ◎これからの日本のあり方、世界の中の日本の位置づけについて、歴史を通して考えたい方

## 講師プロフィール

### 保阪 正康 (ほさか まさやす)

1939年北海道生まれ。同志社大学文学部社会学科卒業。日本文藝家協会、日本ペンクラブの会員「昭和史を語り継ぐ会」を主宰。主に日本近代史(とくに昭和史)の事象、事件、人物に題材を求め、延べ4,000人余の人びとに聞き書きを行い、ノンフィクション、評論、評伝などの分野の作品を発表している。

現在『昭和史の大河を往く』シリーズ(毎日新聞社)は全13巻を数えている。一連の昭和史研究で2004年に菊池寛賞を受賞。

## FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。  
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agera.net/>



### 参加者

講座名	保阪正康さんの近現代通史 【昭和天皇が歩んだ 20 世紀】<第二期>後編	<input type="checkbox"/> agoraメンバー シップに申し込む
会社・ 団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

### 支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

### 割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい [ ]
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人) 夕学五十講、クロッシングは慶應カード割引のみ適用  
【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。  
◆20%割引:108,000円(消費税8%込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合  
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合  
【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。  
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

### 割引制度(法人)

agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(夕学五十講、クロッシングは対象外)  
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

### お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階  
株式会社慶應学術事業会  
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。

### ■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。 ◆開講28日前まで:キャンセル料は発生しません。 ◆開講27日~21日前まで:参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講20日~14日前まで:参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講13日前以内:参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。 ◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

### 個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。  
<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。